

漢検2級に103歳合格

日本漢字能力検定協会（京都市）は8日、長崎市の中野清香さん（103）が昨年10月実施の漢字検定2級に合格したと発表した。

中野さんは受検当時も103歳で、1、10級の12段階（準1級、準2級含む）の全てを達して最年長記録。これまでの最年長は2014年に8級に合格した102歳の男性だった。

中野さんは協会を通じて「子どもや孫たちも喜んでくれた。年を重ねることに体力は衰えてゆが、脳の働きは衰えない」とコメントした。「小学校でも漢

長崎の中野清香さん

最年長記録



漢検2級に最年長となる103歳で合格した中野清香さん

字の書き取りは得意だった」という。太平洋戦争中はニューギニア戦に従軍。手元に辞書がなかったが、軍司令部にはあり「見せてもらうのが楽しみだった。活字に飢えていた」と振り返った。

協会によると、2級は「2136字の常用漢字全ての読み書きができるレベル」で、例年の合格率は2割台。中野さんは101歳の誕生日に家族から問題集をもらって勉強を始めた。20年10月に一度受検して不合格だったものの、102歳だった21年6月20日の検定で準2級に合格。誕生日を過ぎた21年10月17日の検定で2級を突破した。

漢検は21年度、全国で約171万人が受検した。